

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | 独立行政法人国立病院機構東長野病院 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 2月 3日 | | ～ 令和7年 3月 3日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) 3 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 2月 3日 | | ～ 令和7年 3月 3日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11名 | (回答者数) 10 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 3月10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | ・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっています。また、活動に合わせた空間となっています。 | ・広くてとても良いと思います。 ・段差等がなく車イスが移動しやすいように配慮されています。 ・個々のスペースが必要な場合は、スクリーン等を使用してスペースを確保しています。 | ・長期休みの利用人数は日によって変動があるため、マンパワー不足になる場合があります。 ・使用していないベッド等を取納できるスペースがあるとよいと思われます。 |
| 2 | ・職員の意見等を把握する機会を設け、情報共有を図り、なるべく業務改善につなげようとする努力をしています。 | ・月に一回、関係者が集合して通園事業実務者会議を開催しています。 ・意見を把握する機会は設けられていますが、その内容の発信が不足しているかもしれません。 | ・今後も通園事業実務者会議を充実化していき、病院関係者への情報発信ができるようにしていきたいと思います。 |
| 3 | ・虐待を防止するため、職員の研修機会や自己チェックを年2回実施しています。 | ・全職員を対象に障害者虐待防止と身体拘束適正化の研修会を年に2回実施しています。また自分自身の行動や言動を振り返るために自己チェックも年に2回実施しています。 | ・全職員が研修会に参加して権利擁護について知識を深めています。月に一回開催している虐待防止と身体拘束適正化推進委員会およびラウンドを充実させていきます。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | ・父母の会など、保護者同士で交流する機会や、きょうだい同士が交流する機会を設けることが、できていない。 | ・きょうだい同士での交流への取り組みはこれから検討していく段階です。 | ・保護者への働きかけや関係者との連携を図り、取り組んでいく必要があると思われます。 |
| 2 | ・こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用することなどがまだできていない。 | ・まだ不十分と思われるので今後、まずフォーマルなアセスメントから定着させていくとよいと思われます。 | ・児童のアセスメントの5領域20項目については、これから利用して、充実させていきたいと思っています。 |
| 3 | ・地域の児童館等を利用している児童との交流や連携を図ることについて。 | ・利用者様の対象が重症心身障害の皆様であり、体調などの関係等もあり、地域の施設等利用児童と交流することは難しいです。 | ・福祉ネットなどを通じて事業所間での情報交換や連携を深めて、これからもますます、充実させていくことが大切だと思われます。 |